資料２

令和８年度

安曇野市公共事業評価に係る

意見書（案）

（再評価）

令和８年　月

長野県公共事業評価監視委員会

１ 審議対象事業

長野県公共事業評価実施要領第 16（3）の規定により、以下の箇所について安曇野市長から審議の依頼があり、当該箇所を審議対象とした。

事業種類	事業名	路線名	箇所名	事業概要	予定工期	全体事業費	市の評価案
主要な道路の整備	道路改築事業	市道明科4036 号線	明科中川手	道路改築工 L=800m W=6.5(13.0)m	R5～R13	千円 1,700,000	継続

２ 再評価に係る委員会としての意見

■　審議結果：安曇野市の評価案（継続）を妥当と判断する。

【主な論点】

道路整備による周辺住宅の住環境への影響　等

【判断に至った理由】

○　国道 19 号から現在整備が進められている地域高規格道路 松本糸魚川連絡道路（安曇野道路）へのアクセス機能を担う路線であり、事業の必要性が認められるため。

○　地質調査の結果、軟弱層対策として擁壁基礎工の追加が必要と認められるため。

○　側溝整備による民地への雨水流入防止など、住環境への影響を低減する対策が講じられており、地域住民から概ね理解を得ていると認められるため。

≪審議上の意見≫

○　事業の目的や整備効果などについて、地権者や周辺住民等に対し丁寧な説明を行い、理解を得ながら進めること。

○　県が実施している安曇野道路の整備状況を踏まえ、工事の実施時期や内容について調整を図りながら事業を進めること。